



## 第 1823 回例会

平成 27 年 3 月 16 日 (月)

12:30~ 海南商工会議所 4 F  
会員卓話 山畠 弥生 君、重光 孝義 君

### 1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

### 3. 出席報告

会員総数 48 名 出席者数 27 名  
出席率 56.25 % 前回修正出席率 64.58 %

### 4. 会長スピーチ



会長 山東 剛一 君  
みなさん、今日は。先週は 3 月にしては寒すぎる日が続きましたが、風邪などひかなかつたでしょうか。  
先日の火曜日に 3 月の理事会がひらきましたが、その内容を簡単にご報告いたします。4 月のプログラムとしては、第 1 週は花見例会が神田屋で、第 2 週は家族会で姫路城に。第 3 週は、会員卓話に上野山雅也さん。第 4 週は委員会報告と御坊の I M に出席した方々の報告を予定しています。次に職業奉仕委員会から本年度の行事として家族会で行くかまぼこ工場をそれにあてます、とのことでした。次に I DM 開催についてですが、それぞれ 4 月中旬までに終えて 5 月の例会で発表できるよう準備してほしいとのことです。次に先日お話ししました 40 周年記念事業についてですが、理事会としてはその話をすすめていただいたらという思いをお伝えして記念事業部会で結論がでたら理事会にあげて頂き最終的に理事会で決定しようということになりました。以上、理事会の内容をあらましご報告いたしました。

このあと、重光君、山畠君の卓話があります。ご清聴下さい。ありがとうございます。

**3月は識字率向上月間です**  
(Literacy Month)

四つのテスト 言葉はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

<http://www.kainaneast-rc.jp>



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：山東 剛一 幹事：中西 秀文 SAA：山田 裕之

E-mail : [info@kainaneast-rc.jp](mailto:info@kainaneast-rc.jp)

2014-2015年

海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

### 5. 幹事報告

前幹事 大谷 徹 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山 RC 3 月 31 日 (火) → 3 月 31 日 (火)  
12:30~ 紀三井寺ガーデンホテル  
(お花見例会)

海南 RC 4 月 1 日 (水) → 4 月 1 日 (水)  
18:00~ 神田屋 (花見例会)

海南西 RC 4 月 2 日 (木) → 4 月 2 日 (木)  
19:00~ 大池荘 (花見例会)

貴志川町長山

和歌山東 RC 4 月 2 日 (木) → 4 月 2 日 (木)  
18:30~ ダイワロイネットホテル  
(お花見例会)

○休会のお知らせ

海南西 RC 4 月 30 日 (木)

### 6. 委員会報告

○情報規定委員会

委員長 岩井 克次 君

I DM の開催について、各組のリーダー及び副リーダーの方は、4 月中旬までに開催し、5 月に発表してください。

○プログラム委員会

委員長 田岡 郁敏 君

I M 2 組が御坊で開催されます。参加者の方は 4 月の第 4 週の例会で発表していただきますので、よろしくお願いします。

### 7. 会員卓話

○山畠 弥生 君 (海南飲食組合理事長)

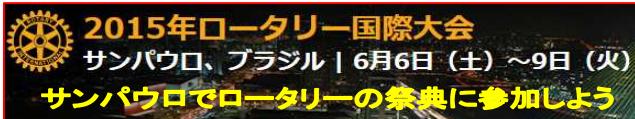
プログラム委員長さんから海南飲食業組合の理事長として卓話をお願いしますとご依頼があり、本日は、組合の現状と現在どんな活動をしているかについてお話したいと思います。



海南飲食業組合は、地域の食文化の向上と業界の繁栄を目的として昭和 15 年 5 月に結成され、今年で 75 年目を迎えます。全国組織が出来て本来の正式団体名は、和歌山県飲食業生活衛生同業組合 海南支部で、私は支部長となります。現在も昔から馴染みが深い通称名で海南飲食業組合と呼ばれています。去る、平成

25年5月に2年に1度の役員改選があり、定款には、三役、理事（12名）の中から理事長を選任するものとありましたが、実際のところ、副会長4名から選ばれるのが慣例となっています。私も当時副会長の1人でしたので、理事長就任の依頼が何度か来ましたが、当初は頑なにお断りを致しておりました。その理由は、第一に以前、元滋賀県知事の嘉田由紀子さんが、「女性は、男性の二倍活躍して結果を出さなければ良い評価は得られず、失敗すると所詮女だからと云われる」とコメントしていました。この言葉が、脳裏を離れず、当組合は、今まで女性が理事長になった前例がなく、ましてや利害関係の生ずる組織で、理事、役員の協力体制が図れない第2にこの不況下で会員数が極端に減少しており財政が苦しい中、私の手腕では、公平で健全な組合運営を遂行する自信がない。第3に今まで先輩理事長さんは、かなり活発な活動をされ実績を残されており、その事業を踏襲し2年間活動を続けていては、クロスは閉店に追い込まれてしまうのではないかとの不安もありました。しかし、刻々と総会の日が近づいて来るにも拘らず、副会長4人共、組合は存続させねばと云う気持ちはあっても、ほぼ私と同じ様な理由から、誰一人承諾せず何度も話し合いを持ちました。その結果、2年の任期は長すぎるが1年なら何とか仕事を犠牲にしてでも出来るのではないかと意見が一致し、早速、定款変更に着手し「理事長の任期を1年として、理事長は、副理事長より1年交代で職務を遂行する」とし、その年の総会に於いて承認されました。1年の任期で何が出来るのか？と諸先輩の皆さんからは、厳しいお叱りを受けましたが、当初は、組合を存続させることで精一杯でした。そして、年の順に交代と云うことで、私が二番目で昨年の5月に74年目にして初の女性理事長となった訳です。

そこで、どうすれば、副会長4人が密接な繋がりを持ち、ポジティブな運営が出来るのか？ 男性なら仕事を終え、皆に召集をかけ、酒でも酌み交わし親交を深めて行けるのですが、彼らがフリーになる時間に私は仕事に入ります。考えたあげく仕事が多少犠牲にはなりますが、三役会議を夜8時半からクロスの二階で開き、各自、酒の肴を持ちより1時間程会議をして、その後は、2時間位、飲み会となります。一見不謹慎のようにも思いますが、そのお酒を酌み交わす中で、とても良い意見が出て来ると共に連帯感が生まれてきました。そんな中、先ず取り組んだのが、財政難を回避することでした。組合の主な財源は、会費ですから、会員増強が先決だと考え、今まででは、経営年数が3年位経過していないと入会を勧めないことになっていましたが、飲食業組合があることさえ知らず、孤独で経営に不安を感じている、あえて開店間もない若い店主をターゲットに勧誘してはどうかと考えました。そして、入会が決まった時点で、勧誘してくれた会員さんに報奨金（勧誘に際しての経費）を僅かで



すが支給することに理事会で決定しました。然しながら、不況で閉店が相次ぐ状況で会員拡大は無理だとの考えを持っている理事の多い中でしたから、入会しても5,6件だろうと予想しておりましたが、日頃お酒を酌み交わしている副会長、会計さんが、特に熱心に勧誘に廻って頂き、私の予想を上回る三ヶ月間で合計15件の加入を頂き75件となりました。

これで、資金繰りもクリア出来、役員の皆さんには、協力頂いた感謝の気持ちと、このことで私に活力を与えて頂きました。そして、現在沢山の事業を継続することが出来ております。

では、ここで、現在の組合の活動の一部ですが紹介致します。

#### ①各種団体からお弁当の受注斡旋

海南市役所物品、役務提供受注資格者登録を理事長が代表で申請し、組合が窓口となり各種公共団体からのお弁当を一括受注し、組合の登録店舗に斡旋して、斡旋料として売上の3%を組合に納入して頂いております。(斡旋料は、天気の関係でイベントが中止になった場合の損害の補償金や、組合活動費の一部として活用)

②5月きのくに海南 歩っとウォーク、8月＝夢風鈴まつり、10月＝熊野古道わくわくハイク、11月＝紀州漆器まつり、等のイベントにお弁当又は飲食ブースに出店する為 全て理事長が実行委員を務めています

### ③2 目に親睦 研修旅行 奈良本テルヘ

④お食事券の販売（組合員のお店が潤うように）

④⑤長事办の販売（組合員のお店が商うように）  
当クラブの結婚記念のお祝いに利用して頂いているのでお馴染みだと思います。皆さん、会社や各団体で役員をされているかと存じます。賞品やご贈答用として、ぜひぜひご利用頂ければ幸いです。

として、とんとんご利用頂ければ幸いです。  
尚、購入に際しては、私か手賀さんにお依頼願います。

問、購入に際しては、私がト貴さんにお頼みします。  
⑤飲食マップ（海南駅、各ホテル等に配布）店舗紹介の為のホームページ編集や更新

また、8月から開催の国体には、県内外から来られ

また、9月から開催の国体には、県内外から来られたお客様に、飲食マップで紹介されている組合店舗だと分かるように、店先に会員証代わりに設置する大きなフラッグも制作にかかっています。以上活動の一部ですが、ご紹介致しました。最後に、何卒地元の組合加盟店のお店をご利用下さいます様お願い申し上げまして終わります。

○重光 孝義 君

自分の健康管理について、お話をさせていただきます。

減量することになった、きっかけは、検査結果で尿に糖がでている。体重が 85Kg あった。その後、来週になって血液検査をした結果。ヘモグロビン AIC は 5.8%、正常値でしたが、先生に生活習慣病の予備軍と言われました。一度、栄養士さんの話を聞いてみませんか？と言われました。

はじめの一ヶ月は、朝、ヨーグルト、バナナ、時々、食パン。昼は外食、コンビニが多く、うどん、しらす



弁当、三色弁当とカップヌードルライトなど。夜はキャベツの千切り、ノンアルコールビール、出ているものを適当に食べました。その中で自分が決めたことは、油で揚げたものは食べない。野菜の摂取量を増やす。家ではノンアルコールビールのみ。2週間で5Kg減、最終1ヶ月で8Kg減。85Kgから77Kgに減りました。

太らないように食べると心がけたことは、炭水化物は接待に取る。カロリーを減らしてもバランスが悪いと太ると言われた。外食などあるので1週間単位で考える。ウォーキングをする。4ヶ月でやめてしましましたが、結局は何でも食べると言う事。量を加減する。食べ過ぎの連続は避ける。運動をして筋力を付ける。毎日、体重計に乗ると体重の増減がわかって良いと思います。

## 8. 閉会点鐘



# ニコニコ・BOX

山東 剛一 君 中西幹事が所用で欠席のため大谷前幹事にお願いしました。

田岡 郁敏 君 山畠さん、重光さん 卓話お願いします。

山畠 弥生 君 本日、卓話です。宜しくお願ひします。

重光 孝義 君 小椋 孝一 君 //

運転免許の更新講習で例会に遅れました。還暦の誕生会で祝っていただきました。

山田 裕之 君 ボーイスカウトの行事があり、子供たちの火起こしなどすごいと感激しました。

楠部 賢計 君 最近の出席率が低いこともあり、IDMのテーマに入れてみては。

次回例会

第 1824 回例会 平成 27 年 3 月 23 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4 階

会員卓話

P E T S 報告 会長エレクト 阪口 洋一 君  
次期R財団委員長 楠部 賢計 君



## 国際女性デーに寄せて

## 卓越したロータリーの女性会員

3月8日は「国際女性デー」です。ロータリーで活躍する女性会員も、この記念すべき日に称えられるべき素晴らしい活動を世界中で行っています。全員を紹介することはできませんが、特に母子の健康、経済の発展、そのほかの人道的分野で卓越した活動を実施し

ている女性を紹介します。これらの女性こそ、ロータリーの多様性と国際性を体現しています。



○オラ・アルアワムレ・アルマスリさん アンマンキ  
ヤピタル・ロータリークラブ（ヨルダン、アンマン）

アルマスリさんは、経済的に恵まれない子どもたちが多く通うヨルダンの公立学校に、集水システムを設置したほか、生徒への職業研修プロジェクトを実施・支援。『フォーブズ』誌が選んだアラブ世界でのトップ・ビジネスウーマン 50 人の一人。

○ファリー・モイニさん ラホヤゴールデントライアングル・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州、サンディエゴ）

モイニさんは過去10年間、アフガニスタンへ19回足を運び、学校建設やコンピューター室の設置など、さまざまなプロジェクトに参加。ジャララバードでの学校建設、新生児ケアや助産師への研修プロジェクトと一緒に参加したクラブ仲間に大きなインスピレーションを与える。

○クリスティーナ・コヴォゾー・パトロクロウさん  
リマソール・ベレンガリア・コスマポリタン・ロータ  
リークラブ（キプロス、リマソール）

リマソール・インタークトクラブの創立会員であるコヴォソー・パトロクロウさんは、キプロス初のロータークトクラブ、リマソール・アマスジア・ロータークトクラブの設立を支援。元ポール・ハリス・フェローでもある同氏は、2006年、シェルターボックスト協力し、レバノンでの救援活動にも参加。

○ディーパ・ウイリングハムさん サンタイネズバレー・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州、ソルバング）

ウィリングハムさんは、貧困地域に住む少女への教育と児童人身売買の防止活動を行う非営利組織、PACE Universal の創設者・会長。世界中のロータリークラブと協力し、教育、小口融資、医療、きれいな水と衛生、インフラの提供に取り組む活動を展開。これらの活動によって、3~4万人の人びとに支援を提供。

○テオドラ・アリンソド・ルセロさん サンタロサ・セントロ・ヨータリークラブ（フィリピン ラグナ）

助産師であるルセロさんは、年間500件の出産をサポートする産科クリニックを経営するほか、十分なサービスが行き届いていない地域に住む妊婦への無料クリニックやワークショップを実施。2013年、卓識した医療サービスを提供する人に贈られる賞を受賞。○キャロライン・ジョーンズさん アンカレッジ・イースト・ロータリークラブ（米国アラスカ州、アンカレッジ）

ロータリー財団初の女性管理委員を務めたジョンズさんは、ロータリーボランティアとしてロシアを5回訪問、うち3回は、現地の孤児院で発達遅延のある子どもたちへの教育に従事。さらに、27年間のロ

ータリアン歴の中で、インドでのポリオ撲滅活動、ブラジルでの植樹、コスタリカでの小口融資推進、ウガンダでの粉ミルク配布など、さまざまな活動に参加。  
○バーナデット・ブラックストックさん グラスボロー・サンライズ・ロータリークラブ（米国ニュージャージー州、フランクリンビル）

ブラックストックさんは People for People Foundation の CEO を務め、基本的ニーズ（食糧、衣服、居住、光熱費、薬やその他の日用品）に事欠く生活を送っている人に支援を提供。2003 年以来、1 万以上の家族をサポート。

○ジンジャー・ヴァンさん ベイカー・ロータリークラブ（米国ルイジアナ州、ベイカー）

中退の危険性がある学生に個人指導を提供するプログラムを実施するヴァンさんは、クラブからの支援も受け、荒廃した学校の改築や、家庭教師との協力の下、1 日 50 人の生徒に個人指導を提供。また、職人仕事の担い手が少ないベイカー地域での労働力開発にも力を注ぐ。無職の人、不完全雇用の人、退役軍人を対象に活動。

## リベリア エボラ収束後も続く闘い

エボラ出血熱の大流行により、犠牲者が 3,600 人を超えたリベリア。  
この数



カ月で新規感染数は減少し、11 月には政府が非常事態を解除しました。しかし、エボラの流行を完全に食い止めるには、なすべきことがまだ多く残されています。リベリアの首都モンロビアで最初のエボラ出血熱の感染者が確認されたのは、昨年 6 月。感染性も死亡率も高いエボラの拡大を、限られた医療システムしかないこの国で抑えられるのか。この懸念は的中し、感染者数は倍増、都市部でのエボラ拡大のさまでを物語ることとなりました。エボラが大都市を脅かしたのは、昨年 3 月の西アフリカが最後でした。「エボラ感染の広がりをどうすることもできなかった」モンロビア・ロータリークラブ会員、デビッド・フランクフォートさんはこう語ります。「ここでは、エボラ出血熱に対応できる十分な研修を受けた医療従事者も、適切な医療設備も不足していました」感染拡大を食い止めるために直ちに活動を開始したモンロビアのクラブは、10 月までに非接触の赤外線体温計 200 個、検査手袋 1 万枚、手洗い用の注ぎ口付プラスチックバケツ 100 個、医療従事者用のゴム長靴 120 組、マットレス 80 台、エボラ対応用 車両の無料ガソリン券、学校閉鎖のために自宅に待機している 子どもへの本を寄贈しました。会員 53 人のこのクラブは、エボラ患者、医療従事者、支援スタッフへの現地でのサポー

トを充実させるために、保健・社会福祉省と直接協力しています。「感染者が出始めたとき、救援が来るのをただ待つのではなく、自分たちで緊急行動計画を立てました」とフランクフォートさん。「このような緊急時にこそ地域社会の役に立てるのがロータリークラブだと、身をもって示す使命感を感じました」モンロビアのロータークトクラブ（ロータリーが提唱する若者の奉仕クラブ）も協力し、エボラ感染の予防方法や家庭での対策についての認識向上を目指した戸別訪問キャンペーンを実施。この取り組みは、リベリア看護師協会が後援しました。

さらに、世界中の多くのクラブからも支援が寄せられ、中でも英国のマーロウ・ロータリークラブからは 113,000 ドル以上の寄付が寄せられました。さらに、世界中の多くのクラブからも支援が寄せられ、中でも英国のマーロウ・ロータリークラブからは 113,000 ドル以上の寄付が寄せられました。

### 感染減少も、対応の手を緩めず

世界保健機関（WHO）によると、最も深刻な打撃を受けたリベリア、シエラレオネ、ギニアの 3 カ国での死者数は 8,620 人以上。エボラ出血熱は、血液や体液との接触によって感染し、嘔吐、下痢、体内出血といった症状を引き起します。現在、有効な治療方法はありません。何ヵ月にもわたる緊急対応の結果、新たな感染者数は減りつつあります。しかし、モンロビア・ロータリークラブの会員で、保健大臣のシニアアドバイザーを務めるウイリアム・マーティンさんは次のように話します。「一番の懸念は、国境付近の貧しい地域で越境者が絶えないことです。リベリア国内で感染をなくすだけでは十分ではありません。政府は、いつ起こるかわからない感染に備えて万全な態勢を整える必要があります」今年創立 50 周年を迎えるモンロビアのクラブは、エボラと闘う活動を続けていく決意を固めています。マーティンさんは「これまでの活動の成果を誇りに思う」としつつも、「しかし、ここで引き下がるわけにはいきません」と話します。クラブは、エボラで親を亡くした孤児のための養護施設に 8 万ドルを寄付するほか、リベリア最大の病院であるジョン F. ケネディ・メディカルセンターに感染者治療用の酸素濃縮器を寄贈し、保健と社会福祉の分野の奨学金を提供するなど、モンロビアでの長期的な支援に向けた活動を計画しています。人口 440 万人のリベリアでは、300 人以上の医療従事者がエボラ熱に感染し、うち 178 人が死亡。エボラ流行前でさえ 10 万人に一人しか医師がいなかったことを考えれば、今回のエボラの流行がこの国にいかに深刻な打撃を与えたかがわかります。ちなみに、WHO が推奨する医師の数は最低 600 人に一人とされています。

クラブの活動が緊急の救援から長期的な支援へと移行する中で、会員らは、政府の手が届かないところで支援活動を続けていきたいと考えています。「地域社会での支援と認識向上が中心となるでしょう。人びとがエボラ出血熱について正しい知識を持つことが大切です。流行が再び起これば、この国への打撃はより一層悲惨なものとなるでしょう」